（別紙）

地域サポート計画（新規就農者向け）

（令和7年6月現在の情報）

都道府県名	岩手県	市町村名	滝沢市	問合せ窓口	（組織名）滝沢市役所経済産業部農林課　（電話）019-656-6537 （住所）岩手県滝沢市中鵜飼55　（メールアドレス）norin@city.takizawa.iwate.jp

第1　新規就農者に関する目標及び実績（必須）

（単位：人）

			目標		直近過去実績						備考（年度の考え方等、補足説明が必要な事項がある場合は記載）
			令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		
				うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下	
新規就農者数（必須）			7	7	8	4	7	7	5	1	
	内訳	新規参入者数	7	7	8	4	6	6	3		
		新規自営農業就農者数					1	1	2	1	
		新規雇用就農者数									

注1：「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2：「新規自営農業就農者」とは、家族経営体（1世帯（雇用者の有無を問わない）で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一法人を含む。）の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3：「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）をいう。

第2　新規就農者への地域サポート内容

1　地域の紹介等（必須）

就農希望者に向けたサポート宣言	関係機関・団体等と連携して新規就農者の就農形態や発展段階に応じてきめ細かな支援を行います。
地域と農業の紹介文	滝沢市の農業は、県都盛岡市の北西に隣接した恵まれた立地条件を生かした都市近郊型農業から、岩手山の裾野で、豊かな自然資源や多様な地域特性を生かした中山間地域農業まで、幅広く農業が行われています。 主要な作目としては、主要な作目としては、水稲、野菜（スイカ、サツマイモ、長ネギ、ミニトマト等）、果樹（りんご等）、畜産（乳牛、肉牛等）など「多彩な農業生産」が行われております。 県都盛岡市の最大なる消費地に隣接していることから、新鮮で安全・安心を求める消費者ニーズに対応して「産直施設」が多く設置されているほか、盛岡中央卸売市場が近くにあるなど、農産物の流通や販路には恵まれています。
主な農産物	主要な作目としては、水稲、野菜（スイカ、サツマイモ、長ネギ、ミニトマト等）、果樹（りんご等）、畜産（乳牛、肉牛等）など
地域が求める新規就農者	地域特性を生かした適地適作型で、都市近郊型農業を志向し、いずれは地域農業の中心的な担い手としての役割を担えるような方。

2　地域サポート体制（必須）

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	盛岡農業改良普及センター 新岩手農業協同組合滝沢地区担当課 滝沢市経済産業部農林課 岩手花平農業協同組合 岩手中央酪農業協同組合	販路支援	新岩手農業協同組合滝沢地区担当課
農地確保支援	滝沢市農業委員会事務局	生活に係る支援 （住居、子育て等）	滝沢市
機械・施設等の確保支援	新岩手農業協同組合滝沢地区担当課 新岩手農業協同組合滝沢支所融資係	事務局・全体調整	滝沢市経済産業部農林課
資金相談	新岩手農業協同組合滝沢支所融資係 岩手中央酪農業協同組合総務部融資課	その他（○○）	
農業者による指導	農業研修受入経営体5戸 滝沢市新規就農メンター6戸	その他（○○）	

３ 新規就農者への支援内容（取り組んでいる支援を記載）

区分	支援項目		支援内容の紹介
就農意欲喚起		就農・移住相談対応、就農相談会の開催	随時問い合わせを受け付ける他、年1～2回、「新農業人フェア」にて岩手及び東京でのブース出展にて相談を受け付けております。
		就農体験ツアー・インターンシップの実施	滝沢市新規就農メンター制度により認定された地域農業者が、メンターとして相談・体験に対応します。
		ホームページ、パンフレット等での情報提供	市ホームページにて新規就農にかかる制度等について紹介
		その他	
就農前の支援		研修の実施（生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等）	・農業大学校における農業基礎研修及び研修受入経営体での実践研修により、就農希望者の着実な栽培技術の習得、経営管理に係る知識の習得を支援しています。 ※ネギや、滝沢市の特産品であるスイカやサツマイモの栽培の研修も可能です。
		就農計画作成サポート	申請者と盛岡農業改良普及センターの新規就農支援担当、市農業経営指導マネージャー及び市担当と計画検討を行います。
		農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	市農業委員会が希望地区の農地を斡旋等しています。 新岩手農業協同組合滝沢支所融資係、岩手中央酪農業協同組合総務部融資課が随時相談を受けています。
		販路確保、販路開拓に向けた支援	新岩手農業協同組合滝沢地区担当課が相談を受けています。
		生活に関わる支援（住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等）	滝沢市役所内、各部署で支援します。
		その他	滝沢市新規就農メンター制度により認定された地域農業者が、メンターとして相談・体験に対応します。

就農後の定着・経営発展に向けた支援		就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	・課題解決に向け、関係機関によるフォローアップ巡回、経営能力向上のための農業簿記指導や青色申告書の作成指導会を実施しています。 ・市認定農業者協議会と連携し、各種セミナー、講習会の他仲間づくりなどの交流会も実施しています。
		規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	市農業委員会が希望地区の農地を斡旋等しています。 新岩手農業協同組合滝沢支所融資係、岩手中央酪農業協同組合総務部融資課が随時相談を受けています。
		販路確保、販路開拓に向けた支援	新岩手農業協同組合滝沢地区担当課が相談を受けています。
		地元農家や地域住民との交流促進の取組	農業青年クラブ（たきざわグリーンワークス）との交流による仲間づくり、地域内外の若手農業経営者や先進的経営者等との交流や情報交換の機会を提供し、経営者意識の醸成及び経営管理能力の向上を図るとともに、早期の経営安定化を支援しています。
		生活に関わる支援（住居のあっせん・手当、子育て支援等）	滝沢市役所内、各部署で支援します。
		その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に〇を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4　就農までの流れ（必須）

就農相談	就農準備段階	就農
情報収集 ・就農体験（希望による） ・地域の若手農業者との交流等	研修の実施（２年間、研修受入れ農家での基本的な生産技術・農業経営力の習得） 農地・機械等の準備 就農計画の作成 販路の検討、販路の確保 種苗、肥料等の生産資材の確保	〇独立・自営就農

５　経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

（1）経営開始5年目の目標（主たる従事者1人当たり）（必須）

年間所得	300 万円	年間労働時間	2,100 時間

（2）経営開始5年目の目標となる農業経営モデル（必須）

営農類型	品目	経営規模（a、頭数等）	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	長ネギ	200 a	3 t/10a	売上　1,500 万円	専従　2　人	2,400 h/年	
				経費　1200 万円	パート　2　人		
				所得　300 万円			

主な施設・機械等						
	農作業舎	1 棟	管理機	1 台	ネギ皮むき機	1 台
	パイプハウス	1 棟	動力噴霧機	1 台	コンプレッサー	1 台
	トラクター	1 台	ネギ掘り取り機	1 台	軽トラック	1 台

注：必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

（3）その他情報（任意、自由記載）

注：必要に応じて適宜行を追加して記入してください。